

發行兼編輯人 川崎文治 郵局石城郡平町長根町五番地 發行所 常設毎日新聞社

常新新聞

定部 五銭 廣告 五銭 印刷 五銭 郵税 五銭 送料 五銭 行日 五銭 印刷所 常設毎日新聞社

刊夕日七月五

牛ト食糧問題

米食ノ大和民族ハ食糧難ニ陥ル
食糧ヲ水田ニノミ求ムルハ今ヤ不可ナリ
而シテ肉ト乳トヲ食用セヨ
肉ハ草ニ在リ 糞桿ニ在リ
牛二九八 三二二三屋
電話三二三番

平町會議員候補者トシテ
丹野榮三郎君
柏原眞吾君
ヲ推薦シ極力其當選ヲ期ス

二丁目一同
平町有權者有志

外科内科 平町鎌田町
産婦人科
花柳病科
金成醫院
金成忠義
電話三五八番

帝キネ大品作大所影撮坂小ネキ帝

大好評につき再度上映
かどの鳥大會 前後篇 十二巻
里見明、澤蘭子主演

流血慘雨大時代劇
抜討權八 全巻
『花のお江戸に男を賣つた權八の物語り!!!』
市川百之助、山下澄子主演
其他實寫喜劇
八月九日、十日、ヨル、ヒル二回
帝キネ直營電話四四六番

有聲座

常警論壇

合同は何の爲か

政界通人 政界更新の目的からしても革新俱樂部の如きは毅然としてその清節を固持すべきであると思ふのにその貴重なる三十年の歴史を棄て、敢て政界更新に名をかりて政友會に合休するが如きは抑も何たる醜態である吾輩は敢て醜態だといふ世間も恐らく左様に見ることであらう

改革及中正三派の合同のことが新聞紙に報導せられそれによると合同の形式から人名までが記されてをる政革中三派の合同は果して何の目的の爲めに必要であるのか今新聞の報ずる處の覺書の原案なるものによつて見るに改革中の有志は政策主張の點に於て殆んど一致を圖る爲めに立憲政友會の名の下に合同するといふに致すれば何故に合同し一黨

とならなければならぬのか而して三派がその目的に於て一致するならば合同せずとも共同目的に向つての協調は當然保てる譯で一向に差支へない筈である若しそれが不安である差支へあるといふのは即ち目的が一致してゐない證據である従つてこの覺書だけの意味だと合同の理由が薄弱で到底公明正大義名分の明かなるものといふことは出来まい殊に新政黨が立憲政友會といふ有様であるとするれば今度の合同はその實政友會が肥るといふことになるので一番馬鹿なのは革新俱樂部である

全額返金の大量出し

奇抜!!! 奇抜!!!
銀婚式を記念し平素御愛顧の謝恩の意味で.....

七日より十六日までの十日間のうちどの日か抽籤の結果一日だけ全額返金當籤日になります

若しあなたの御買上票が幸ひに當籤日と同一日附でございましたら其の日の御買上金高全額を御買上票と引換に商品券を以て御返し致します

假りに十日が當籤日と定まつたとしたならば其の日に五十銭御買上げの方には五十銭一圓御買上げの方には壹圓の商品券を差上げる事になります

抽籤は五月十七日當店内で御客機及び常警毎日新聞社立會を以て行ひます

發表は十八日當警毎日新聞紙上及び店頭にて發表致します

まつたく奉仕的な奇抜な賣出しですから御興味を御持ち下さいまして御来店の程を御願ひ申し上げます

忘れなく五月七日より十六日までの十日間

平町四丁目
内外製 葉問屋 マツモトヤ

逸獨 高級眼鏡

メニスカス
メニスレ
ズを何ん
で皆さんが
お好みにな
るのです
答 掛け心地
が良くて眼
や脳へは絶
對弊害がな
く晴々する
からです

常盤屋 時計店
平町二丁目
電話三三九番

弊店眼鏡部は各品多数取揃へ
電力應用で速時調整します

滋養 カルミン 明治製菓社

齒科 齋富齒科醫院

代理店 マツモトヤ




血迷ツたか... 満藏クン馬脚を現す

転んでも只是起きぬ氣の
出放題な宣傳文

例の野崎満藏クンが「大瀧發電所と電氣町營に就て」と題する悪文讀むに耐えない手前勝手な印刷物を本日全町に撒布した、是れに依ると大瀧發電所の利権屋達が町營を目的として騒いで居るに拘らず反對同盟會が町營に反對するものであるが如き讀む者をして一種の錯覺に陥らしむる筆を構へて居る、コ、等が満藏クンの云はる通り利権屋の「甚だ卑劣な悪策であります」から眉唾の用意を怠つてならぬ處だ、ソレは扱て置き先づ一通り讀み下すに彼等一派に愛町的な誠意誠心が棄にする程もあるかないかを疑はしむると云ふ一點は次の文句である、即ち同印刷物の最初の邊りに「私は昨年七月大瀧發電所問題の紛擾中(中略)該發電所を町營とするの一舉兩得なるを闡陳して小田吉次氏を介し町當局並びに反對同盟會に經營を條件として平町に無償にて提供する事を申し出でました……」

とある、是れに依ると儲かる利権をロハで平町に呉れる云つた様な減ツ法もない氣前を見せたらしいがドッコイ二一夭作の五とソロパンを弾いて見る迄もなく終りの方には

「現在私は電氣企業社及炭礦會社の重役でもなく一小株主に過ぎませんが、會社の權利を無償提供すると云ふ責任は負はれません……」

と来たもんだ、成程して見ると結局平町に對して無償提供ではなく有償提供と云ふ事に考へ直したらしく従つてイクラの企業費でイクラ儲る等と掲げて貧乏人の我々風情には一寸計算も覺束ない大した金額なんかは尻一つにも當らない百日の説法だ、何んとかして因念付きの水利権をモノにしやうと擔ぎ廻つたが誰にも相手にされない揚句の果に今度は平町に賣り付けてポロイ儲をせしめ様等と云ふコソタンは轉んでも只是起きぬ御勘定、イヤ見上げたもので御座る

長橋町は 遠藤氏起つ

昨夜漸く決定

長橋町には植頭鶴松氏に對し極力出馬を促す處あつたが斷然辭退して止まず如何とも他に方法をなす爲め昨夜再び豫選會を開き若し此際一名も適任者なく城明け渡しを爲すが如き事あつては同町の面目に關する爲し投票の結果遠藤林松氏が五

十數票の多きを獲り得たる爲め直ちに同氏に交渉せる處茲に快諾を得るに至り本日午後一時から區の委員會を開いて運動準備に着手する事となつた

一昨晚は珍らしく 眞ッ赤な月が出た

不思議な現象
小名濱測候所長語る

一昨晚のお月様は青い光芒を失つて眞赤に雲の中に浮いてゐたので早魃のこるしではないかなどの噂が立つたがそうではないらしい月が眞赤くなる現象の原因には凡そ

三様の 場合を考へることが出来る一は季節にやつて来る氣象上の煙霧のためである一はこの前のやうな満州方面から来る黄砂のためであり一は火山噴火から影響される場合である

調査し て見ると今回ののはこの前の黄砂ではなく煙霧とも斷じ難い或は槍ヶ嶽の噴煙が風の關係から襲來したのではないかと見られるがしかしさう斷定し得る確證がない早魃の到來す る場合にはこれに似通つた氣象現象が見られるものであるがその場合の特徴は現れてゐないから昨晚の月を早はつた豫兆とするは當らないと小名濱測候所長が語つた

長崎大尉着任 平町

長崎大尉着任 平町

生花指南來平 東京 生花界の大家小原流師範平 鷲女史は八日來平し南町 清野看護婦會にて一般に盛 花挿花等を指南する筈にて 會費は一圓である

警中體操教師となつた歩兵 二十九聯隊附の大尉長島勤 氏は六日着任し各官公衙を 歴訪して着任の挨拶をした 組員總出で

校庭擴張工 事 赤井村にて 石城郡赤井村第二小學校に ては敷地が狭いため児童等の 運動や遊戯に差支へを生 ずる事多い處から同村消 防組は總出にて二日から五 日間坪數百廿坪高さ二尺の 校庭取擴げ工事を行つたと

濱三郡聯合の 花角力を催す 警城俠政會にては明八日か ら三日間勸業博覽會餘興場 にて濱三郡聯合大花角力を 催す由

無斷家出取押 宮城 縣亶理郡山下村大字花釜横 山惣兵衛(三)は昨日午後三 時頃無繼家出し午後十一時 四十分平驛着上り列車に乗 り込み居たる爲め平驛取締 の増子巡查が早速取押へ實 兄惣十郎に引渡した

無斷家出取押 宮城 縣亶理郡山下村大字花釜横 山惣兵衛(三)は昨日午後三 時頃無繼家出し午後十一時 四十分平驛着上り列車に乗 り込み居たる爲め平驛取締 の増子巡查が早速取押へ實 兄惣十郎に引渡した

醫師會總會 終つて懇親會 石城郡醫師會は十一日午後 一時より平署樓上に於て總 會を開き終つて午後四時か ら谷口樓に懇親會を開くと

蠶業活動寫眞 石城 郡永戸箕輪村にては四日か ら三日間村内小學校にて縣 蠶業課主催の活動寫眞會を 催したと

南町の小火 七日午 前七時五十分頃平町南町五 番地小泉よし方裏長家より 發火し大事に至らんとせる を消し止めたが原因は炭火 の不始末

不平受付 投書歡迎 平驛の右側通行 左側通 行は官民協力宣傳の結果漸 く徹底したるに拘らず平驛 構内に於てのみ右側通行を 勤めつゝあるは何事ぞ、人 民に範を示すべき官衙にて 折角矯正したる習慣を破壊 するが如きは矛盾も甚だし ければ早速驛内の右側通行 の制札を撤廢せられ度し (百萬編)

新平驛長の答 平驛の ブラットホームの關係で 若し左側通行とする場合 には乗降客が或る個所で カチ合ふ爲めに非常な混 雑を來すことになるので 様々研究の結果昨年十一 月九日から右側通行に改 正したので、現に構内の 都合で右側通行を勵行 して居るのは私の知つて 居るのばかりでも東京驛 を始め目黒、目白、水戸 等が夫れです

石城郡の 春蠶掃立枚 數

前年より増加

春蠶掃立の時期もいよゝ 切迫したが石城郡の調査に よれば本年度の掃立枚數は 一萬九千枚で前年度より 約二分の増加を示してゐる 状態であるがこれは不景氣 に禍された農家一般がこの 春蠶で一儲けしようとする非 常な意氣込みで掃立準備を急い でゐる結果と見ることが出 来るが郡内で最も掃立の早 い小川等でも今年も暖氣が 來るのが遅かつたため昨年 より三日程遅れ六七日頃 から始めたが催育に着手し

かゝつた蠶種は温暖の激變 に遭はぬやう特に注意を要 すると堀部産業技手は語つ てゐた

銀婚式 記念の植樹

平青年團にて

既報平青年團にては昨夜午 後七時より警城銀行樓上に 於て幹部會を開き新任團長 山崎清三氏の挨拶あり銀婚 式奉祝に關する協議に移り 當日は該社子銀倉神社々頭 に於て在郷軍人分會と共に 宮城を遊覽し萬歳を三唱し て兩陛下を壽き記念の植樹 を爲すべく決定した

共同穀物調査 石城 郡窪田村赤津庄兵衛氏代表 者となり共同米穀受檢所設 置出願に對し實地踏査の爲 め北川本縣技手は安島平支 所長と共に六日同所に赴き 詳細に亘つて取調る所あつ た

火防組合組織 平町 三丁目齋藤寅松氏其他發起 にて火防組合を組織し銀婚 式當日發會式を擧げると

兎の耳 神を汚した女給さ ん 福島署の吉岡 巡查が此程「カフ エー女給取締に關 する件」を報告したがその

内容を甚だ振るつてゐる 「午後八時半頃市内料理店 大和田の二階で女給四人が 聲高に讚美歌を歌つて居る 讚美歌は神の御前にのみを 於て歌ふものであるのに汚 れ多き料理店に於て歌ふこ とは神を汚したものである 」と言ふ意味なので流石の 署長も苦笑してゐる

平町人事 ▲出生 紺屋町一二住谷胤次氏長男孝長 △仲町町七一井上政吉氏二女高子 △仲町町七一林多重氏二男重之 △長橋町五六加藤外一氏長男秀雄 △白銀町三八荒本忠夫氏四女サキ

募集 文藝其他投稿 を募集します 於て歌ふものであるのに汚 れ多き料理店に於て歌ふこ とは神を汚したものである 」と言ふ意味なので流石の 署長も苦笑してゐる

平町人事 ▲出生 紺屋町一二住谷胤次氏長男孝長 △仲町町七一井上政吉氏二女高子 △仲町町七一林多重氏二男重之 △長橋町五六加藤外一氏長男秀雄 △白銀町三八荒本忠夫氏四女サキ

平町人事 ▲出生 紺屋町一二住谷胤次氏長男孝長 △仲町町七一井上政吉氏二女高子 △仲町町七一林多重氏二男重之 △長橋町五六加藤外一氏長男秀雄 △白銀町三八荒本忠夫氏四女サキ

五月八日より公開 松竹下加茂超特作大雄篇 連續時代劇 明治時代に入るお傳の 放浪生活(三) 全十二篇 本週中篇八巻上巻

五月の頃 松竹下加茂超特作 哀話 全八巻 松竹下加茂超特作 哀話 全八巻

一度怒らば 松竹下加茂超特作 大活劇 傑作 全六巻

平館 松竹キネマ直營 實寫萬國オリピック選手 蒲田訪問記